



まきくよう



風がきもちいいね♪

今月の主な話題

- 平成24年7月九州北部豪雨 2
- エコライブ始めませんか? 4
- 熱中症を防ぎましょう 6
- 10月1日から、レジ袋が有料化されます 7
- 女性のための子宮がん・乳がん検診 8

広報 まきくよう

2012

8

No.495

おえかき大好き!



あじさいとかたつむり



作者 ふじもと かほ
藤本 夏穂ちゃん
 (三里木北)
 平成18年8月21日生まれ

ぼくのわたしの誕生日

8月



Happy Birthday!

たなか てんせい
田中 天晴くん
 (三里木北)
 平成19年8月6日生まれ

誰にでも優しくしてくれる頼りがいのある男の子です。



うじはら みさき
氏原 美咲姫ちゃん
 (あさひヶ丘)
 平成19年8月22日生まれ

おしゃれが大好き! 笑顔が素敵な優しい女の子です。

編集後記

7月12日は大雨が降り、雨音と雷でなかなか寝付けませんでした。明るくなってみて、これまでに経験したことのないような大雨が襲ったのだということが分かりました。

私の住んでいる地域では、新緑の美しい緑色をしていた山々の姿が変わってしまいました。「まさか自分の町がこんなことになるなんて」と正直思いました。自然と隣り合わせで生きる私たちは、恵みを与えてもらう一方、災害への備えも欠かせないものなのだあらためて感じました。(1)

人のごき

平成24年6月末現在 ()内は前月比

人口	38,022 (-8)
男	18,674 (-12)
女	19,348 (+4)
世帯数	14,649 (-1)

- 出生 / 33 ●死亡 / 26
- 転入 / 138 ●転出 / 153

今月の表紙



今年の夏も暑い日が続いていますが、省エネも叫ばれています。エアコンをつけて涼みませんか。坂本彪晟くんと高木愛美ちゃんも、扇風機の風に当たって涼しそうです。

※この広報紙は、環境に配慮して、再生紙と大豆インクを使用しています。



▲手植えを楽しむ参加者

まちのわだい

田んぼの学校 in 白川中流域

農地の力と大切さを学ぶ

「田んぼの学校 in 白川中流域」が6月30日、柳水の水田で行われました。これは、大津・菊陽両町の4土地改良区でつくる白川中流域水士里ネット協議会が主催したもので、農地の持つ多面的機能(地下水涵養など)や稲作を学ぶために開催されました。

町からは武蔵ヶ丘小学校5年生、熊本市からは公募した小学5年生と保護者、熊本学園大学の学生の合わせて約130人が参加。参加者は泥まみれになりながら、田植え綱に合わせ、手植えしていきましました。

午後には菊陽北小学校体育館で、東海大学産業工学部の市川勉教授から「地下水涵養の仕組み」について模型を使った説明を受け、馬場桶堰や鼻ぐり井手を見学しました。

10月には、この日植えた稲を刈り取り、収穫を祝うことになっています。

■発行/菊陽町役場
 〒869-1192 熊本県菊池郡菊陽町大字久田2800番地
 TEL.232・2111(代表)

■編集/総合政策課
 TEL.232・2112(直通) FAX.232・4923

Eメール sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp
 URL http://www.town.kikuyo.lg.jp/

ホームページ [きくようまち](#)

この広報紙はユニバーサルデザインフォントを使用しています。